

わが町に行く  
—下連雀2班—

22・9・1



野村病院



屋上駐車場



旧公庫運動場



日本無線

働く女性の会員さん



秋風の通る襖を張り替える



山水を逆さに眺め襖張る

三鷹市内には散歩に適した気持ちのいいせせらぎや流れがあちこちにある。その陰に隠れて忘れられつつあるのが、かつてあった玉川上水から発した分水の流れ。  
そのひとつ、市内東部を200年余り流れていた牟礼用水の痕跡を訪ねてみた。(村岡)



①



③



②



④

- ① 井の頭公園内のほたる橋下流にある牟礼用水取水堰。
- ② のどかな田んぼだった牟礼四丁目周辺の通りには、用水の幻が漂う。
- ③ ちょうど三鷹台団地の南から始まる「中川遊歩道」。
- ④ 北野には農地も多く中川遊歩道の周辺では季節の変化が楽しめる。
- ⑤ 中川遊歩道の下には巨大な下水道の暗渠があり、市民の暮らしを支えている。
- ⑥ 遊歩道に誘われて世田谷区給田に入ると、場違いな郵便ポストが待っていた。



⑤



⑥



三調めのエントツくん

撮影：高橋信幸



三鷹から見える富士山写真コンテスト応募作品から



Osawa walk



- 野川右岸にある水車経営農家のたたずまい。
- 内部の複雑な機構を持つ水車装置全体が良好な状態で保存されています。

三鷹の水車



# しんぐるま

江戸時代に建てられ、改修を重ねながら、昭和40年代まで稼働した峰岸家の水車「しんぐるま」は、多機能を持つ貴重な大型水車で、平成6年、水車、古民家が峰岸清氏から三鷹市に寄贈され、現在は三鷹市によって管理公開されています。



秋になると水の力で水車を動かし、精米、製粉作業などを行い、その様子が特別公開されます。当センターからも施設管理業務等で協力しています。

本年10月12〜14日の連休などはベストシーズン。見学等の情報、問い合わせは三鷹市ホームページで三鷹の水車「しんぐるま」をご覧ください。

